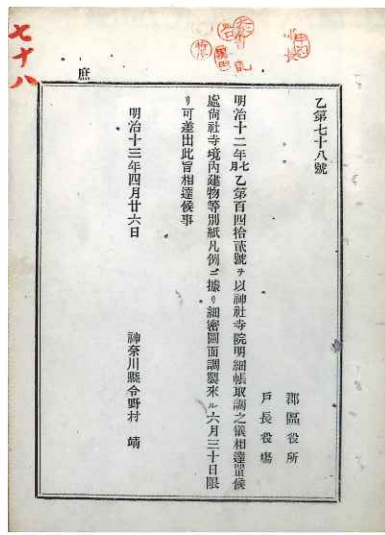




三浦郡社明細帳 (横須賀・諏訪神社所蔵)



社寺製図凡例 (神奈川県公文書館所蔵)

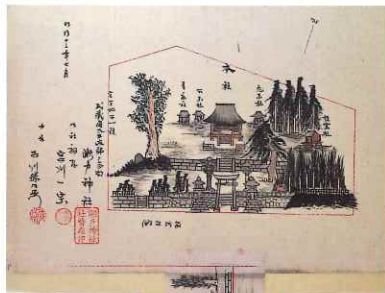
皆さんの町にも神社や寺院があると思いますが、神奈川県では明治13年ころの神社・寺院の絵図が残っています。

廃仏毀釈の後、明治12年(1879)に内務卿伊藤博文が全国の神社・寺院の調査を命じて作成した「社寺明細帳」と呼ばれる神社や寺院の各郡別の基本台帳があります。所在地と敷地面積、建物の場所や大きさ、祭神・本尊、氏子・檀家数などが文字で記録されました。

神奈川県では翌明治13年(1880)、この「社寺明細帳」に対し図面を4枚作成するように命じたのです。この図面がご紹介する「社寺明細帳図」で、文字だけではわからなかった境内の様子がよく写し取られています。現在残っているのは、金沢文庫のある久良岐郡の図面が多く、橋樹郡や足柄上郡・下郡分はほとんど見つかりません。東京の三多摩地区もその当時は神奈川県下でしたので、北多摩郡の絵図もあります。まだ各神社や寺院、さらに旧戸長宅にいつ描かれた図かわからないまま残っている可能性もあります。

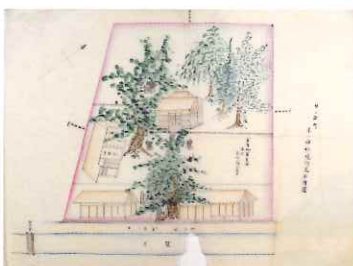
140年ほど前に作図に苦勞しながらも描き残された、神奈川県下の神社・寺院の姿を描いた「社寺明細帳図」をぜひご覧ください。

同時に、京急線・金沢八景駅横にあった金沢東照宮(現在の金沢八景権現山公園敷地内)の祭神・徳川家康像も特別公開します。

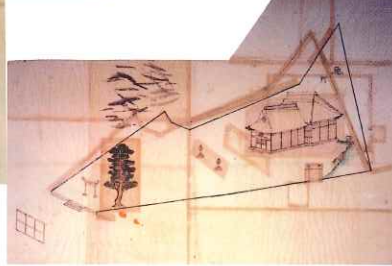


注: 縮尺はそろっていません。

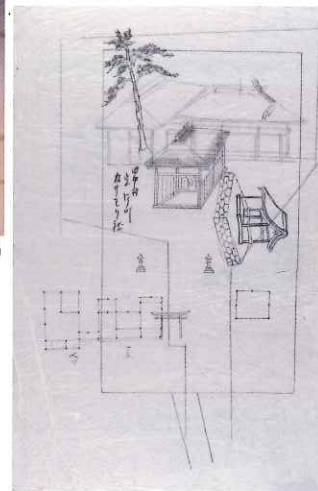
瀬戸神社 (久良岐郡二分村 個人蔵)



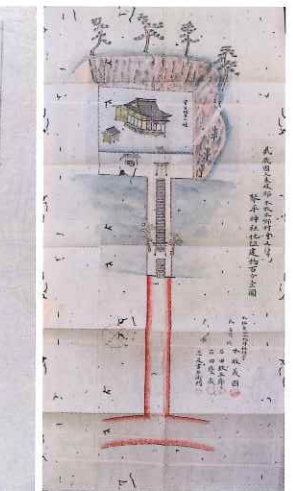
子ノ神社 (久良岐郡日ノ出町 個人蔵)



八幡神社下図 (久良岐郡寺前村 横浜開港資料館所蔵)



カサモリ社下図 (明王大郎関連 手中家所蔵)



琴平神社 (久良岐郡本牧本郷村 横浜市歴史博物館所蔵)



前鳥神社 (大住郡四ノ宮村 前鳥神社所蔵)

展示構成 社寺明細帳
社寺明細帳図とは
描くための苦勞
誰が描いたのか
県下各地の社寺明細帳図

主要展示品

- 「三浦郡社明細帳」(横須賀・諏訪神社所蔵)
- 「三浦郡寺院明細帳」(神奈川県立公文書館所蔵)
- 瀬戸社明細帳図、金沢区内の社寺明細帳図
(瀬戸神社所蔵 県立金沢文庫所蔵 個人蔵など)
- 金沢町での明細帳図調整に関する図 (横浜開港資料館所蔵)
- 大山大工・明王太郎の関わった明細帳図下絵 (手中家所蔵)
- 県下各地の明細帳図
 - 鎌倉宮 (鈴木氏寄贈)
 - 覚園寺 (鎌倉市中央図書館所蔵)
 - 前鳥神社 (前鳥神社所蔵)
 - 慈眼寺 (平塚市博物館所蔵)
 - 叶神社 (瀬戸神社所蔵)
 - 浄楽寺 (個人蔵)
 - 東禅寺 (個人蔵)
 - 吉田新田日枝神社 (横浜市歴史博物館所蔵) など

◆講演会・講座のご案内

- 特別講演会 「大工の職能と図面 大山大工・明王太郎を例に」
日 時: 令和5年7月15日(土) 午後1時30分~3時30分
講 師: 小沢 朝江 氏 (東海大学建築都市学部建築学科教授)
定 員: 60名 (定員を超えた場合は抽選) 締切日 6月29日
- 月例 講座 「社寺明細帳図とは」 6月11日(日) 締切日 5月25日
「徳川家康像について-旧金沢東照宮像を中心に-」* 7月1日(土) 締切日 6月15日
- 解説 講座 「明治13年頃の神社・寺院の姿Ⅰ」 6月24日(土) 締切日 6月8日
「明細帳図を描く苦勞」 7月9日(日) 締切日 6月22日
「明治13年頃の神社・寺院の姿Ⅱ」 7月22日(土) 締切日 7月6日
- 講 師 *印 瀬谷貴之主任学芸員 その他 山地純主任学芸員
- 定 員 60名
- 時 間 午後1時30分~3時 会 場 金沢文庫大会議室
- ◆講演会・講座の申込方法
金沢文庫HP「申込フォーム」、または往復はがき(お1人様1通まで)に、講座名(開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、それぞれの締切日必着でお申し込みください。
※受講当日の観覧券をお求めください(受講料は無料)。

【同時開催】

「金沢東照宮の徳川家康像」

【次回予告】

特別展 中世学僧列伝!!
令和5年7月28日(金)~9月24日(日)